

1 公営住宅の役割と現況

- 公営住宅は、戦後の住宅不足を解消するため、高度経済成長期を中心に県と市町村が協働して建設してきました。
- 高齢化社会が進む中で、公営住宅は、生活困窮者にとって住まいの重要なセーフティネットで、今後とも各地域の需給バランスを勘案し、的確に維持・管理する必要があります。
- 一方、人口減少社会の到来や厳しい財政状況を踏まえ、建物の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減など既存ストックを有効に活用しながら、将来を見据えたストックマネジメントが求められています。

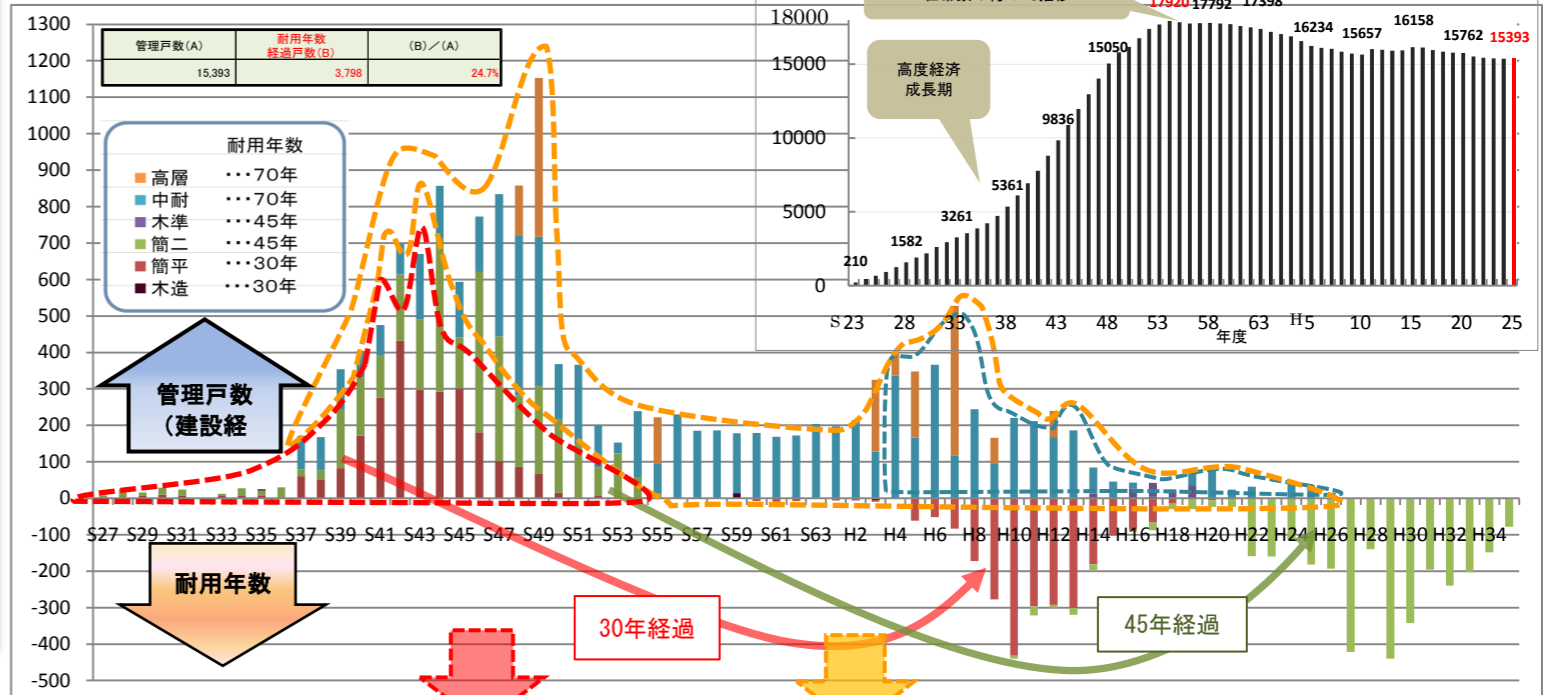
□ 県営住宅入居世帯における高齢化率（65歳以上の入居者がいる世帯／全入居世帯数）

H15年	H20年	H25年
21.5%	28.1%	33.1%
(3,190世帯/14,837世帯)	(4,079世帯/14,516世帯)	(4,419世帯/13,363世帯)

□ 入居世帯の状況(対象世帯／全入居世帯(13,363世帯)) H25.4.1現在

生活保護世帯①	母子(父子)家庭世帯②	高齢者同居世帯③	単身世帯④
9,299世帯 (7%)	1,549世帯 (11.6%)	4,419世帯 (33.1%)	4,154世帯 (31.1%)

3 県営住宅の建設経過とストックの状況



□ 低層住宅（簡平・簡二）【約5,900戸】

- ◆ 県営住宅白山団地(佐久市) (S45年建築)
- ◆ 県営住宅庄ノ宮団地(長野市) (S40~44年建築) (44~48年経過)

□ 中高層建物（S37~H25）【約9,500戸】

- ◆ 県営住宅加茂団地(岡谷市) (S48年建築) (40年経過)
- ◆ 県営住宅並柳団地(松本市) S47~52年建築 (36~41年経過)

□ 中高層建物（うちH4~）約3,400戸

- ◆ 県営住宅東小諸団地(小諸市) (H3年建築22年経過)
- ◆ 県営住宅君石団地(塩尻市) (H23年建築)

4 長野県公営住宅等長寿命化計画(H22.2)の概要と見直しについて

□ 公営住宅ストックの推計

【世帯数の4%を供給目標に設定】

□ 県営住宅の活用方針

【4手法による整備方針】

□ 検討方針

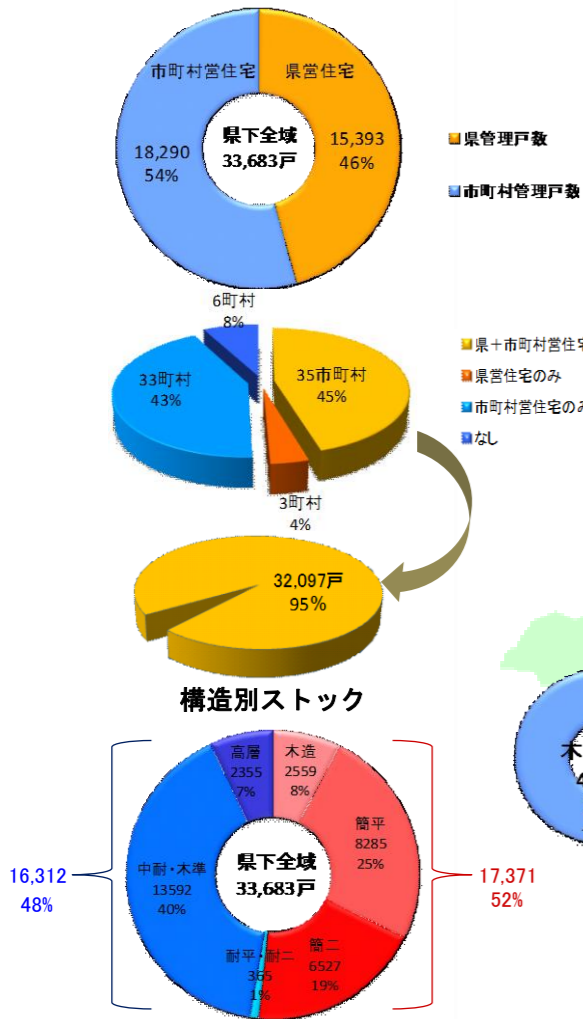
- 県営住宅の役割
- 市町村営住宅の役割
- 公営住宅ストックの推計
- 既存ストックの活用方針

↓

需給バランスを踏まえたストックマネジメント

2 公営住宅ストックの状況 (H25.4.1現在)

○ 県及び市町村営住宅のストック



○ 各地域における公営住宅ストック

